



平成 28 年 5 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
代表者名 代表取締役兼最高管理責任者 長倉統己
(コード：3647 東証第二部)
問合せ先 管理部次長 藤井 晃夫
(TEL：03-5439-6580)

岡山県美作市におけるメガソーラー事業への共同出資、 及び最大出力 33MWの太陽光発電所の建設の着手に関するお知らせ

当社は、株式会社九電工（代表取締役社長 西村松次）、株式会社プロスペクト（代表取締役社長 カーティス・フリーズ）、株式会社BTホールディング（代表取締役社長 鈴木洋）、JFEエンジニアリング株式会社（代表取締役社長 狩野久宣）と共同で匿名組合への出資を通じて、事業主である英田光メガソーラー発電合同会社への投資を行うことで、岡山県美作市に最大出力 33MWの大規模太陽光発電所（メガソーラー）を建設し、発電事業を行うことといたしましたのでお知らせいたします。

1. 事業の概要

設備名称	英田光太陽光発電所
所在地	岡山県美作市中河内字ドフティ 79 他
出力規模（モジュール容量）	33,000kW
設置面積	606,036 m ²
パネル枚数	約 114,300 枚
年間発電容量	約 36,550,000kWh※
事業主	英田光メガソーラー発電合同会社
匿名組合出資者及び出資比率	株式会社九電工 30% 株式会社プロスペクト 30% 株式会社BTホールディング 20% JFEエンジニアリング株式会社 10% 株式会社ジー・スリーホールディングス 10%
匿名組合出資総額	25 億円（予定）
事業総額	125 億円（予定）
施工会社	株式会社九電工 JFEエンジニアリング株式会社
保守・管理会社	株式会社九電工
事業期間	20 年間にわたり、売電価格 32 円にて中国電力へ販売
工事着工時期	平成 28 年 10 月（予定）
運転開始時期	平成 33 年 10 月（予定）

※本事業による年間発電容量は約 36,550,000kWh と、一般家庭約 7,000 世帯分の年間消費電力量に相当し、年間約 18,444 トンの二酸化炭素の削減に貢献する見込みです。

2. 本事業への投資額

当社は、本事業において、自己資金により総額 2.5 億円（出資比率 10%）を匿名組合への出資として投資する予定です。

本事業は、英田光メガソーラー発電合同会社が事業運営を行い、当社は匿名組合への出資比率に応じた配当収入を得るとともに、当社子会社である株式会社エコ・ボンズによる英田光太陽光発電所への太陽光パネル（約 114,300 枚）の供給を予定しております。

本事業による売電金額は、20 年間平均で年間約 11.2 億円（税別）が見込まれており、売電金額から固定資産税、電気事業税、事業主への業務委託料、金融機関に対する元利金等を差し引いた額が配当原資となります。

当社は本事業を通じて、再生可能エネルギーの利用促進、環境負荷低減への貢献等の観点から環境問題への取り組みを推進し、社会への貢献を図ってまいります。

3. 今後の見通し

本件による平成 28 年 8 月期における当社連結業績への影響につきましては、軽微であります。

（参考）前期（平成 27 年 8 月期）及び当期（平成 28 年 8 月期）第 2 四半期（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）累計連結実績 単位 百万円

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益
前期連結実績 （平成 27 年 8 月期）	1,327	△117	△141	△190
当期（平成 28 年 8 月期） 第 2 四半期連結実績	1,590	138	131	103

※平成 28 年 8 月期の連結業績予想（平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日）

当社は、環境関連事業のビジネスモデルにおける収益計上方法及び時期、及びコンセプトマーケティングショップ事業のビジネスモデルにおける新規出店、ビジネスアライアンス事業のビジネスモデルにおけるロイヤリティ収入、並びに新規事業の立ち上げに関わる市場動向・経済情勢・法規制や税制等に関わる不確定要素が大きいため、合理的な予測値の算定を行うことは困難であり、現段階では適切な予想の開示ができないと判断したため記載しておりませんが、今後、業績予想の公表が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

以 上